

平成 24 年度 8020 公募研究報告書抄録

研究課題：市町村行政が行う成人歯科健診の新たな実施方法に関する研究（2）

研究者名：飯嶋理¹⁾、太田義隆¹⁾、中村宗達²⁾

所 属：¹⁾ 静岡県歯科医師会、²⁾ 静岡県健康福祉部医療健康局

【緒言】数%程度が一般的になっている市町村行政が行なう成人歯科健診（歯周疾患検診）の受診率を高める方法を検討するため、平成 23 年度 8020 公募研究として 1. 対象年齢を 65 歳（いわゆる年金年齢）とする 2. アンケート用紙のみによるスクリーニング型健診とする 3. 歯科衛生士が受診者の口腔状態に適した口腔清掃用具を選び、その他歯周病予防グッズと併せ市販価格 2,000 円相当分（サンスター社製）を無料提供し歯科保健指導する の 3 点を特徴とした健診を F 市、S 市で実施し、各々 24.5%、14.5% という高い受診率を得ることができた。今年度は、その成人歯科健診に新たな工夫を加え、平成 23 年度と同じく F 市、S 市で実施し、更なる受診率の向上を試みた。

【目的】市町村行政が行う成人歯科健診について、従来の方法に比べて受診率の高い新たな実施方法を開発する。

【方法】平成 23 年度と同じく 2 地域 [F 市(人口約 124 千人：都市部)及び S 市(人口 25 千人：海山村部)] で実施した。新たな改善策として、1. 働いている人などが受けやすくするため休日に受診日を設ける 2. 夜間まで受付時間を延長する を加えた。

まず、事業対象者に郵送で事業参加依頼文とアンケートによる歯科健診用紙及び返信用封筒を送付した。このアンケートに回答し返送してきた者を事業申込者とした。その後、事業申込者に対して事業（歯科衛生士の個別対応によるアンケート結果の説明と歯科保健指導）参加の予約を取り、これに訪れた者を事業参加者とした。事業参加者にアンケートを行うとともに、事業申込みのなかった者に対して未受診理由調査アンケートを実施した。

【結果】

	F 市	S 市
事業対象者数	200 人（抽出）	620 人（65 歳全員）
事業申込者数（率）	40 人（20.0%）	137 人（22.1%）
事業参加者数（率）	35 人（17.5%）	88 人（14.2%）
事業参加者アンケート回答数（率）	34 人（97.1%）	73 人（83.0%）
未受診理由調査アンケート回答者（率）	90 人（54.5%）	286 人（59.2%）
事業全体でアクセスのあった対象者数(率)	125 人（62.5%）	423 人（68.2%）

【まとめ】新たな工夫を加えたものの、結果は F 市、S 市各々 17.5%、14.2% と前年度事業よりかえって受診率が低下した。理由としては、健診対象年齢を 65 歳としている本研究では働いている人が多数でないため、受診率に変化がなかったと考えられた。本研究で実施した健診方法では、休日実施や実施時間の延長は、受診率向上に影響しないことが分かった。また、受診率の低い原因を探るため未受診理由調査アンケートを実施したが、「忘れてしまった。」「何となく参加しなかった。」など、判然としない回答も多かった。このアンケートへの回答者と受診者及び未受診ながら受診申込みをした者を合わせると（すなわち事業全体でアクセスのあった対象者は）、F 市、S 市各々 62.5%、68.5% となった。これだけの応答があるのだから、今回採用している健診受付方法で受診するためにアンケートの質問に回答し返信するという手間のかかった点を、初回アプローチにおいて面倒な手続きを省く方法に変更すれば、さらに受診率を向上できるという感触を掴むことができた。